

令和5年度 第3回運営推進会議議事録 看護小規模多機能ホームやすらぎ		記載日	令和 5年 8月 22日
		記載者	長田 美紀
議題	1. 利用状況 2. 交流・行事の実施状況 3. 事故・苦情の状況 4. 地域の現状等情報交換 5. 運営推進委員からの助言・評価		
日時	令和 5年 8月 22日（火）開催		
出席者 敬称略	上中3区 町内会会長 広島市民生委員 ご利用者ご家族代表 看護小規模多機能ホームやすらぎ	石丸 敏和 藤原 照夫 植田 美鈴 長田 美紀、大道 麻衣子	
欠席者 敬称略	三入・可部地域包括支援センター グループホームなごみの郷亀山	佐々木真知子 廣森 靖司	
議事	1. 利用状況 【看護小規模多機能ホームやすらぎ登録者】 26名/29名（登録定員） 要介護1： 0人 要介護2： 0人 要介護3： 3人 要介護4： 8人 要介護5： 14人 区分変更申請中 1人 * 平均介護度： 4.4（前回4.19） * 平均年齢： 83.9歳（62～101歳） （令和 5年 7/31現在） ・新規利用… 6月 3名 ターミナルケア、看取り、緩和ケア 7月 3名 ターミナルケア、看取り、緩和ケア ・利用終了… 6月 1名 ご逝去 7月 2名 ご逝去 【通いサービス】 利用者実数：26名/26名 一日平均利用者数：6月⇒13.8名/日 7月⇒13.2名/日 延べ利用者数（6/1～7/31） 823名 【訪問サービス】 看護：19名/26名 延べ訪問件数（6/1～7/31） 1075件 介護：14名/26名 延べ訪問件数（6/1～7/31） 2111件		

【泊まりサービス】

利用実人数：10名/26名

平均宿泊者人数 6月⇒6.3名/日 7月⇒5.7名/日
(6/1～7/31の平均 6.2名/日)

延べ宿泊者数 370名(6/1～7/31)

長期宿泊者人数 0名

2. 交流・行事等の実施状況

6月以降、新型コロナウイルス感染症の陽性者が増加しており、面会制限は継続となっている。特定の方1名、15分以内での協力要請はしている。ただし、終末期の方は事前に電話で連絡をいただき、面会される方の続柄と人数を把握したのち、感染症予防対策について説明し面会を15分で許可している。しかし、時間を守ってもらえない、連絡なしで来館されるといった協力を得られないこともあり、増加傾向である。一般の感染症に対する認識と、高齢者の生活の場での感染症予防対策の実施の必要性の認識に開きが出ていることも要因。

【実施した交流・行事】

- ご家族と一緒にクッキング（しば漬けを使ったポテトサラダ）
→全利用者に参加希望を募り3世帯が参加した。
- お誕生日のお祝い
→お祝いカードとケーキ、歌のプレゼント
- 趣味活動
→スケッチやパターゴルフなど好きなことを個別で実施

3. 事故・苦情の状況（6/1～7/31）

事故…0件

インシデント：1件 内服薬の準備忘れ ダブルチェックで回避

苦情…0件

4. 地域の現状等情報交換

【地域の現状】

- ・地域の祭りはほぼ復活し、両延神社も10/28、29で決定した
- ・上中三区で、神輿を担ぐ人員不足を懸念（10名程度必要）
→当事業所の男性職員の派遣を検討
- ・9/3（日）地域清掃
- ・地域包括ケアシステムと言うものの、地域での介護は難しい。
- ・今でも、どこに相談したら良いか知らない人はいる
→介護を経験する機会がないと、知る機会にはつながらない

- ・民生委員は介護保険の認定研修やヤングケアラーの研修が増えた。
- ・家で介護をすることが人の目・手が不足して難しくなっている。
- ・マンション住人も高齢化して、町内会を脱会することもある。
- ・子ども会まで手が回らず、その会の存続もままならない。
- ・不登校の子どもが増えている。(区内で 70 名以上の不登校)
- ・今年のお盆は、子どもたちが帰省して両親の異変に気付き、地域包括支援センターへの相談が多かったと聞いている

【終活するにあたって必要な情報とは】

- ・誰に自分のことを知らせてほしいか（知らせた方がよいか）
 - 家系図をつくった。親戚の名前と関係性を書き記した。
 - 家族以外の友人などがキーパーソンになれるように緩和
 - 残された人が困らないようにするための情報
- ・自分が万が一の時に受けるであろう医療と介護について
 - 断捨離はしているが、そのような話を家族などにまだしていない
 - それを伝える前に死んだらどうしようと心配している
 - 何か機会がないと話には出にくい
 - 入院してもすぐに退院、転院希望しても難しいという状況は病院がどうなっているのか知る必要はある

【感染症状況】

- ・新型コロナウイルス感染症については、6月以降で利用者3名、職員4名の発症があったが時期は重なっていない
- ・新型コロナウイルス感染症の対応は、泊りを利用していた方は個室隔離対応（1名）、他2名は重症化リスクが高く、安佐市民病院へ紹介入院・加療となった。現在は利用再開されている。
- ・発熱がある場合は主治医に報告して、抗原検査やPCR検査を実施し、事業所内での感染拡大防止に努めている。
- ・その他の感染症は尿路感染症や誤嚥性肺炎が多い
- ・自宅療養が困難な方は泊りサービスを利用し、主治医の治療方針に沿って看護師が看護サービスを提供し状態の安定をはかっている。

5. 運営推進委員からの助言・評価、連絡事項

【助言】

- ・今後のことを考えると、こういう施設が地域が増えてほしいと思う。介護サービスを受けている人に満足度調査をしてもらいたい。内容は難しくなくて良い。今後使えるデータにとかは考えず、まずはご利用者が何に満足で何に不満なのかを知る機会をつくってみてはどうか。
- ・アンケート調査の内容は、何をしてほしいか、楽しいか、安心できるか、ご飯はおいしいか、テレビは何が好きかといった簡単なことで良

い。利用者が答えやすいように。

- ・満足度調査としては段階を経てやっていったら良い
- ・アンケートをしたら、職員で共有することが大事。やって終わりではなく、活用した方が良い。

【助言に対し】

簡単なアンケート調査を次回運営推進会議までに作成し、意見を求め完成させる。実施はその後速やかにできるように準備する。

【長期連泊者の承認について】

現在、長期連泊者はいない。

【連絡事項】

次回の運営推進会議

令和5年10月10日（火）10：00-11：00

看護小規模多機能ホームやすらぎ 相談室

以上